

事務事業評価表 平成25年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 都市型農業の推進
 基本事業 環境と調和した農業の推進

事業名 **環境保全型農業支援事業**

[1000]

部名	経済部	事業開始年度	平成23年度	実施計画事業認定	非対象
課名	農業振興課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 農業者
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 環境と調和のとれた持続性の高い農業の推進
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 環境保全型農業直接支援対策事業(国)により、化学肥料・農薬の5割低減及び緑肥等の作付けを行った農業者に、費用相当分を補助金交付。 【5年度からの手段: 国の制度活用は廃止し、相談業務及びPRを行う】

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	農家戸数	戸		473	449	449
対象指標2						
活動指標1	申請件数【5年度からの指標: 相談件数】	件		6	2	13
活動指標2						
成果指標1	補助件数【5年度からの指標: 支援件数】	件		6	2	13
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	0	1,218	222	0
正職員人件費(B)		千円	0	2,408	2,405	403
総事業費(A) + (B)		千円	0	3,626	2,627	403

費用内訳	
24年度	負担金・補助及び交付金 222千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	平成23年度からの国の「環境保全型農業直接支援対策」事業開始に伴い、9月補正予算で予算措置。	事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

環境保全の取り組みは必ずしも生産性と結びつかないことから一定の支援が必要であるため

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

化学肥料・農薬の低減は環境保全に資するため

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

2件実施済み

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

取り組む生産者が見込めないため

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

予算は定額、作業は主作物作付のほか緑肥を作付し、すぎ込む手間を要するため